

コース名		科目名				対象学年		
良医の礎		医の原則Ⅱ				2		
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
2 学期		勝山 博信				無		
授業到達目標								
1. 健康に及ぼす環境の影響を説明できる。 2. 医学・医療の歴史的な流れを概説できる。 3. プロとしての医師の言動を理解することができる。 4. 医療・保健・福祉などのチーム連携における医師の役割を説明できる。 5. 倫理教育：医の倫理と生命倫理について概説できる。 6. わが国の医療保障制度の特徴を説明できる（医療関連法規を含む）。 7. 医師は患者に最も適した医療を勧めなければならないが、その理由が理解できる。 8. 医師には能力があっても環境により診断と治療の限界があることを理解できる。 9. コミュニケーションを通じ良好な人間関係を構築する方法を学ぶ。 10. 医師は死者を診察することがあるが、死者に対する礼儀を尽くすことが理解できる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/ 6	金	1	講義	勝山	公衆衛生	環境と健康	B-4-1)-4
2	9/13	金	1	講義	種本	心外	外科の歴史 残酷外科の時代から身体に優しい外科へ	A-1-1)-1
3	9/20	金	1	講義	彦坂	非常勤／ 医福大	プロとして活躍するには ー研究者の立場からー（医学研究を含む）	A-8-1)-1
4	9/27	金	1	講義	熊谷	非常勤／ 医福大	医療におけるソーシャルワーカーの登場～ギャボット博士の貢献を中心に～	B-4-1)-13
5	10/ 4	金	1	講義	渡辺	自然	医学・医療の倫理 ーヘルシンキ宣言を中心にー（倫理教育を含む）	A-1-1), B-3-1)-1 B-3-1)-3
6	10/10	木	1	講義	勝山	公衆衛生	医療保障制度の考え方と仕組み（医療関連法規を含めて）	B-1-8)-1
7	10/25	金	1	講義	森谷	病理	がん診療における病理医の役割～基礎から臨床への架け橋（生涯教育を含む）	A-9-1)-1, A-9-1)-4 C-4-6)-2
8	11/ 1	金	1	講義	尾内	小児	「人生に成功するために忘れてはならない4つのポイント」ー明確な目標と生涯教育の重要性ー	A-2-1)-2, A-2-1)-3
9	11/ 1	金	2	講義	石原武	精神	患者の心を理解する	C-5-7)-1, D-15-1)-1
10	11/ 1	金	3	講義	吉留	衛生	死者を診察する ー中毒学的視点からー	B-2-1)-2, E-9-1)-3
評価方法								
[レポート]90%（レポートの大半が講義内容の転記であるものは採点を厳しくします。自分の考えをレポートに反映させること。） [出席状況（受講態度）]10%（他大学の先生も講義しますので、節度ある受講態度を求めます。理由無き途中退席は欠席とします。） [評価方法]出席・受講態度評価、論文・レポート								
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて								
採点後のレポートは全教員閲覧後に返却します。								
教科書								
（特になし）								
参考書								
（特になし）								
準備学習（予習・復習等）								
予習：日頃から医学・医療に関する情報を新聞や文献で収集し、見聞を広げておくこと。 復習：講義を聴いて新たに疑問に感じた内容を自ら調べたり、教員に質問するなど知識を深める努力をすること。 予習・復習ともに1時間程度の学習を要する。								
講義についての注意事項								
静かに講義を聴き、疑問に感じたことは積極的に質問すること。 他大学の先生の貴重な講義を聴講できるので、退室は厳禁とする。								

昨年度からの変更点・改善項目

倫理教育、医療関連法規、医学研究、生涯学習等への意識付けを行うよう教員間で意思の疎通をはかった。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本学の建学の理念のひとつである「人間（ひと）をつくる」ために、医師としてのプロフェッショナリズムや目標の設定方法、医学の歴史、患者心理、環境医学を学び、4年次履修科目環境社会医学の基礎を習得する。

ナンバリング

HLMM205